

緩やかな下り坂

無人のごみ収集車が、50メートル走行

運転手と助手が、「収集作業」をしようと…車外に出た

『輪留め』をせず、『サイドブレーキ』も十分にかかっていなかった

民家の壁に衝突、壁が崩れ、隣家の車も壊れた

◇駐車・停車時は、『サイドブレーキ』の確認と、『輪留め』の設置◇

2020/9/12(土) 19:07

12日午前10時5分ごろ、神奈川県で、委託業者の50代男性運転手と60代男性助手がごみを収集しようと車外に出たところ、車が前方に動き出した。

現場は緩やかな下り坂で、車は民家の擁壁と植栽に衝突し、横転して止まった。

擁壁が崩れたほか、隣家の車が壊れた。

市のマニュアルで定める車留めをせず、サイドブレーキも十分にかかっていなかったという。

市は「委託業者にはあらためてマニュアルを活用した従業員研修を実施させる」としている。